

ココロ
KKRのわ
通信

特集
P1
〜
P4

肺がんセンター・気胸センターの開設

- 肺がんセンター開設 品川 副院長 …………… P1
- 気胸センター開設 井上 呼吸器外科部長 …… P3
- 10/25 健康フェスタ 田中 診療部長 …………… P5

No. 75
2026.5

肺がんセンターの開設について

■ 開設にあたり

このたび、当院では令和7年12月より「肺がんセンター」を開設いたしました。肺がんは依然として日本におけるがん死亡の首位を占め、札幌市および道央圏でも深刻な課題となっています。

一方で、診断・治療技術は日々進歩し、分子標的薬や免疫療法、低侵襲手術、定位放射線治療など、より個別化された集学的治療が求められています。

当センターでは、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線治療科を中心に、病理診断科や緩和ケアチームなど多職種が連携し、「迅速な診断」「最適な治療」「切れ目のない支援」を提供する体制を整えました。合同カンファレンスで治療方針を決定、共有し、紹介から治療、フォローアップまでスムーズに一貫した診療を実現します。

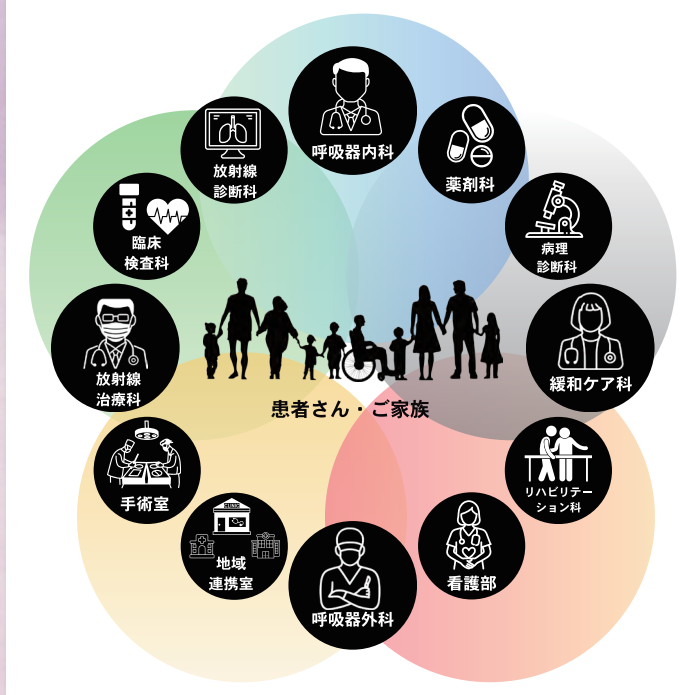
地域の先生方との連携は、当センターの使命であり、患者さんにとって最良の医療を届けるための鍵です。今後も情報共有を密にし、大学・関連病院との協力を深めながら、臨床研究や教育活動を通じて地域医療の質向上に貢献してまいります。

皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



肺がんセンター長・副院長
呼吸器内科 品川尚文

診療体制イメージ



■ 肺がんセンターの概要・診療体制

当センターは、理念に掲げる「迅速・的確・安心の肺がん医療」の実現を目指し、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線治療科を中心に、各専門領域が緊密に連携した診療体制を構築しています。

患者さん一人ひとりの病状に応じて最適な治療方針を導き、地域における肺がん医療の質向上を図ります。

「肺がんの可能性がある」あるいは「肺がんを否定できない」症例でも迅速に対応しますので、遠慮なくご相談下さい。

■ 肺がんセンターの特徴と目的

本センターは、肺がん診療の専門拠点として以下を目指します。

迅速・正確な診断体制

画像診断、気管支鏡検査、病理診断・遺伝子解析までを短期間で実施し、治療へ直結。

個別化・集学的治療

呼吸器内科・外科・放射線治療科が連携し、患者一人ひとりに最適な治療方針を立案。

地域医療連携の強化

紹介から治療・フォローアップまで切れ目のない診療を実現。

緩和医療・支持療法の充実

緩和ケア科専用ベッドを備え、どの段階でも安心できる体制を整備。

教育・研究活動の推進

若手医師育成、臨床研究を通じて地域医療水準の向上に貢献。

■ 呼吸器内科 —精密な診断と薬物治療の最前線—

肺がんセンターの「玄関口」であり、最初の疑い段階から確定診断、病期判定、そして内科治療（薬物療法）の主体となる部門です。

■ 呼吸器外科 —低侵襲手術から拡大手術まで—

呼吸器外科は、肺がんをはじめとする胸部腫瘍に対して、外科的切除による根治を目指す診療部門です。安全性と低侵襲性の両立を重視し、術後の回復と生活の質（QOL）の維持を第一に考えた手術を行っています。

■ 放射線科 —精密かつ安全な照射戦略—

当院では、強度変調放射線治療（IMRT）、脳定位放射線治療、そして体幹部放射線治療が実施可能です。

■ 緩和医療・支持療法 —あらゆる段階で寄り添う支援—

肺がん治療には、根治を目指す治療だけでなく、生活の質を守るケアも不可欠です。
当センターでは、緩和ケアチームを常設し、身体症状・心理面・社会的支援を統合的に提供します。

■ 地域連携医の皆さまへ

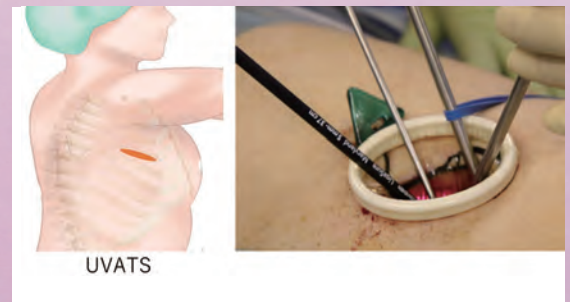
当センターは、地域の肺がん診療の中心的役割を担います。紹介患者様の診断・治療・フォローアップを切れ目なくサポートし、情報共有を密に行います。今後は大学・関連病院との連携をさらに深め、臨床研究・教育の拠点としても機能強化を図ります。



気管支鏡



化学治療室



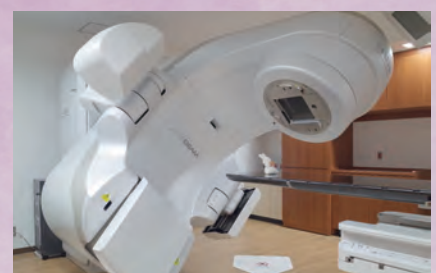
UVATS

単孔式胸腔鏡手術



RATS
1W2P法

低侵襲ロボット支援手術



高精度放射線治療装置

気胸センターの開設について

■ 開設にあたり

自然気胸は若年者から高齢者まで幅広く発症し、突発的な呼吸困難や再発を伴うことが多く、迅速かつ専門的な診療体制が求められます。

近年、全国的に「気胸センター」を標榜する施設が増え、患者・紹介医双方にとって分かりやすい窓口となっています。

当院では、呼吸器領域の専門性をさらに高め、地域の患者さんが安心して受診できる体制を整えるため、「気胸センター」を開設しました。

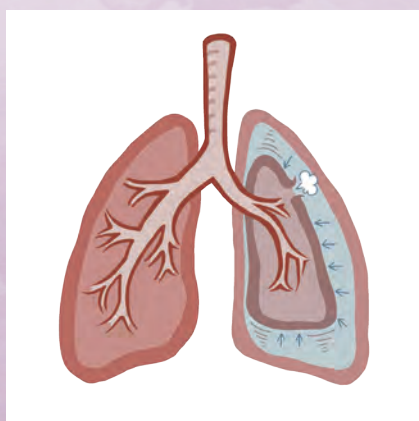
これにより、呼吸器疾患といえば「KKR 札幌医療センター」という認知を強化し、肺がん診療や手術症例の増加にもつなげていきます。

気胸センター長

呼吸器外科部長 井上 玲

■ 受診について

ご紹介に関して 24 時間受入対応いたします!



《平日 8:30~17:15》

● 地域連携室直通電話
0120-552-303

《休日・時間外》

● 代表電話
011-822-1811



■ 気胸センターの特徴

1. 専門医による迅速・的確な診断と治療

気胸の原因は多様で、若年者にも多い特発性気胸から、COPD や間質性肺炎を背景にした続発性気胸までさまざまです。

当センターでは、胸部レントゲンや胸部 CT を用いた正確な診断のもと、保存的治療から手術・内視鏡治療まで、患者さんごとに最適な治療を提案します。

2. 単孔式胸腔鏡手術(Uniportal VATS)による低侵襲治療

当センターでは、手術が必要な患者さんに対して単孔式胸腔鏡手術を標準術式として導入しています。1 か所の小さな切開創からカメラと器具を挿入するため、術後の痛みが軽く、回復が早く美容的にも優れた結果が得られます。

さらに、早期退院パスを導入し、多くの患者さんが術後数日で退院可能です。学生・社会人・アスリートなど、早期復帰を希望する方にも適した治療体制を整えています。

3. 呼吸器内科による内視鏡治療(EWS)

呼吸器内科では、EWS (Endobronchial Watanabe Spigot) による気管支鏡下治療を行っています。これは、空気漏れの原因となる気管支をシリコン製の栓で閉塞し、肺のエアリークを止める方法です。

手術が難しい方や再発を繰り返す難治例にも適用でき、体への負担が少ない非手術的治療として有効です。

4. 再発予防と退院後フォロー

治療後も再発予防に力を入れ、呼吸器外科と呼吸器内科が連携して継続的にサポートします。退院後には、再発チェックのための定期画像フォロー、吸入治療や在宅酸素療法(HOT)呼吸リハビリ指導を通じて、安心して生活できる環境を整えます。

5. 地域医療との連携

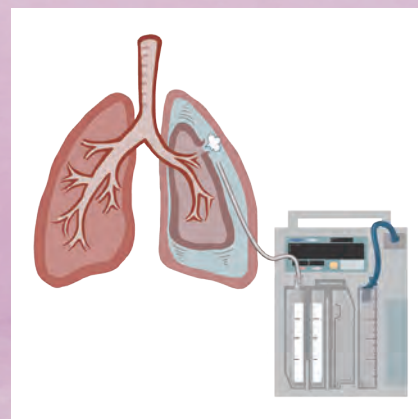
地域クリニック・病院からの紹介を積極的に受け入れ、治療後は逆紹介を通じて主治医の先生方と情報共有を行っています。また、他院で治療を受けた再発例や診断困難例のセカンドオピニオンにも対応しています。

■ 診療内容

気胸の治療は、症状や肺の虚脱の程度、再発歴、全身状態などによって異なります。

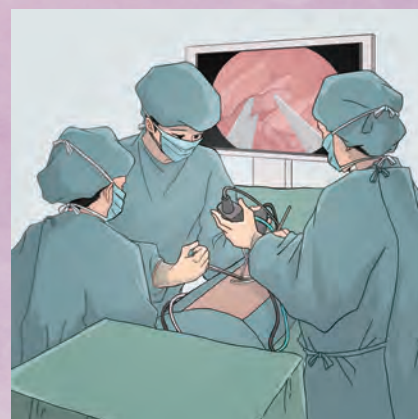
当センターでは、保存的治療から手術、癒着療法、EWS など、それぞれの患者さんに合わせた最適な方法を選択しています。

- ① 保存的加療（自然治癒を待つ治療）
- ② 胸腔ドレナージ
- ③ 癒着療法（胸膜癒着術）
- ④ 胸腔内造影（エアリーク評価）
- ⑤ 手術治療（VATS：胸腔鏡胸腔鏡手術）
- ⑥ 内視鏡治療（EWS：気管支充填術）



■ 地域連携医のみなさまへ

気胸で困った患者さんに「ここへ」と明確な受診先を示すことで、患者さんの安心感と迅速な対応を実現します。今後は治療成績の公開や講演会、パンフレットなどを通じて情報発信を強化し、地域医療の質向上に貢献します。



KKRフェスタのご紹介

『KKR フェスタ』をご存知でしょうか。当院では 2023 年から平岸地区や職員のお子さん(幼児から小学生まで)を対象とした「KKR こどもフェスタ：お仕事体験会」を毎年開催しています。昨年度は 9 月 20 日(土)に開催し、総勢 120 名のお子さんが参加してくださいました。併せて縁日ブースも設置し、大盛況のうちに幕を閉じました。「将来のイメージ(医療関係者)が湧いた!」との声もいただいています。以下、その一部をご紹介します。

診療部長 田 中 輝 明

リハビリテーション科 科長 荒 谷 隆

■ダヴィンチ(手術ロボット)体験

実物のダヴィンチを操作し、練習用ゲームに没頭。モニター越しに、みんなも応援!



■薬局調剤体験

自動分包機を使ってお菓子を分包。薬剤師になった気分! お菓子も嬉しい!



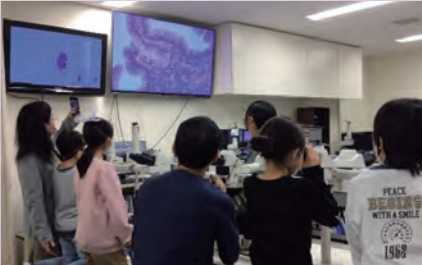
■心臓マッサージ体験(心肺蘇生術)

ゲーム形式で和気あいあい。親子で挑戦!



■顕微鏡体験

細胞や細菌を顕微鏡で観察。興味津々!



■リハビリ体験 (車いす押し/自走/杖)

息を弾ませつつ、懸命に操作。難しいけど楽しいね!

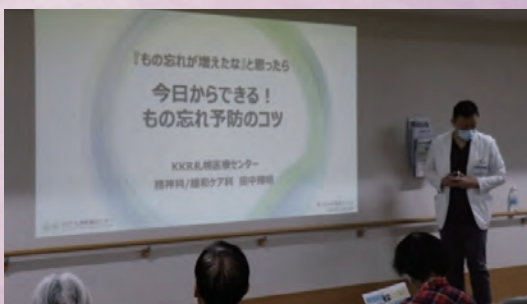


■スーパーボールすくい (他いろいろ)



さらに、10月25日(土)には初の試みとなる「KKR 健康フェスタ」も開催しました。当院では近隣の皆さまを対象とした「健康講演会」を毎年実施していますが、それとは別に当院の医師・臨床検査技師・理学療法士・臨床工学士などが講師となって、各々の専門分野についてのミニ講義と体験を交えた参加型イベントとして新たに企画しました。がん診断・もの忘れ予防・メタボ対策・睡眠時無呼吸・バランス機能・BLS 体験・ダヴィンチ体験など外来エリアに複数のブースを設け、「ひらぎしウェルネスフェア」との同日開催で歩行姿勢測定やインストラクターによるウォーキング指導なども併せて実施し、地域の皆さま 75 名にご参加いただきました。

■精神科医による「もの忘れ予防」講義



■臨床心理士による「もの忘れ予防」体操



■糖尿病内科医による「サルコペニア」講義



■体組成計で筋量や脂肪量を測定



■病理科医による「がん診断」講義



■がん細胞を顕微鏡で観察



■理学療法士による「バランス機能」講義



■筋力やバランス機能を測定



■呼吸器内科医による「睡眠時無呼吸」講義



■臨床工学士らによる心肺蘇生法



今年で4年目を迎えるKKRフェスタですが、このような取り組みを通じて、地域の皆さまとの交流を大切にしております。これからも信頼される存在として、地域とともに歩む、身近で開かれた医療機関を目指しております。KKRフェスタが当院を身近に感じていただく機会となりましたら幸いです。

追記

2026年度は6月に「こどもフェスタ」、9月に「健康フェスタ」を開催する予定です。

ドクターtoドクターによる ご紹介の対応について

地域連携室にて対応しております。
下記専用ダイヤルまでご連絡ください。

☎ : 0120-552-303

↑こちらは医師同士の専用ダイヤルとなります

受付時間 平日8:30~17:15(受付時間外は代表電話まで)



医療社会福祉に関する相談窓口について

患者さんの病気に関連して起こる様々な心配ごとの相談対応をさせていただきます。

＜業務内容＞ がん関連、医療費等経済的な問題、退院後の生活・社会復帰、介護保険や障害に関する制度 等

☎ : 011-832-3260 (要事前予約)

受付時間 平日8:40~17:00

直近のトピックス

令和8年 4月 救急医着任に伴う受入体制のさらなる強化

令和8年 3月 代表電話に音声ガイダンス(IVR)を導入

令和7年 12月 肺がんセンター・気胸センターの開設



KKR 札幌医療センター

〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
TEL 011-822-1811(代)

患者サポートセンター地域連携室

地域連携室 TEL 0120-552-303
FAX 011-832-9624



病院
理念

"病院は人"のところで、活力ある病院、選ばれる病院を創ります
— 生命の尊厳を保ち、健康の回復につくします —
— 温かな配慮で安寧（あんねい）につくします —